

## ■かながわジュニア・フォレスター教室 2023 第1回「森で暮らそう」

日時：7月22日（土）10:00～23日（日）16:00

場所：南足柄市 足柄森林公園丸太の森

スタッフ：JFIK 会員9名、かながわトラストみどり財団1名、看護師1名

一般参加者：児童等16名、保護者7名 合計23名

今回、実に5年ぶりの宿泊キャンプとなりました。当初は定員に近い参加応募があったようです。しかし、学校等で各種感染症が流行っていたようで、今回の参加者も直前になって体調不良によるキャンセルが相次ぎ大幅に人数が減ってしまいました。スタッフも班編成などの対応に追われましたが、何とかスムーズにプログラムを進行することができました。これも長年培ってきた経験の賜物と言えるでしょう。二日間とも天気恵まれ蒸し暑く熱中症が心配されましたが、子ども達は大きく体調を崩すこともなく元気に過ごすことができました。また、下見の時には、散策路でヤマビルが多く見られたため対策を強化したところでしたが、天気が良く道も乾いていた為か、被害もなく過ごすことができました。加えてトラスト担当者の配慮によりトランシーバーの活用や看護師さんが居てくれたことはとても安心できました。

1日目、受付も時間通りに終わり、最初のプログラムはクイズ・スタンプラリーです。スタッフが作った問題をクリアしながらスタンプを押して園内散策路を歩くものです。これで子ども達も丸太の森に馴染めたようでした。お弁当を班ごとに食べた後、午後は初プログラムとして「テント張り」を行いました。スタッフも初めて張るテントなので、子ども達と四苦八苦しながらも1時間ほどかけて無事張り終えました。自分で「隠れ家」を



大きなテントに四苦八苦

建てた

子供たちはとても楽しそうでした。

夕食のカレーライス作りも各班とも、ほぼ上手くいきました。

次は、夜のプログラムのナイトウォーク・ムササビ観察です。明かりを使わずにムササビを探しながら歩きます。巣箱から出てきたばかりのムササビを見



カレーライスまだかな？

つけて「あっ動いた！かわいい！」などのひそひそ声を上げながらみんなで見上げていた時です。突然すぐ上空を飛んでくれたのです。今度は大きな歓声と「白い座布団が飛んだ！」などのうれしそうな声が上がりました。きっと良い思い出になったことでしょう。



こんな感じの白座布団

2日目、目覚ましを兼ねたラジオ体操のあと、朝食はカートンドックです。美味しそうに頬張る子どもたち、うまく焼けたようでした。次のプログラム、林業体験は剪定鋏を使って遊歩道沿いの笹刈りを行いました。村長さんの林業の話や注意事項の説明後、熱中症に注意しながら道端をきれいに刈ってもらいました。

そして午後、最後のプログラムはこのキャンプの目玉ともいえるリバートレッキングです。今年から、



**リバートレッキング  
自分の道を見つけよう！**

トラストの安全対策としてヘルメットの着用に加え、ライフジャケットを装着することになりました。万が一の場合には安心できる装備と言えます。中には川の淀みでライフジャケットを使ってプカプカ浮かんでみたり、滝行のような修行気取りで頭から水をかぶっている元気が河童たちもいました。最後の班ごとによる感想文の発表は、代表が一人で堂々と発表したり、全員で発表したり、なぜか班リーダースタッフが代表で発表したりと様々でしたが、それぞれ



**マカハンニャ〜ハ〜ラヘッタ〜とん喝ッ！**

今回の楽しかったこと、もっとやりたいことなどを思うままに発表できていたと思います。

久しぶりの宿泊キャンプで、以前のようなリピーター参加者もなく、われわれスタッフのノウハウも薄れてしまっているのではないかと危惧される部分もありましたが、二日間を大きなけがや病気もなく無事に終了することができました。「また来たい！」という声も多く聞かれ、引き続き来年も「キャンプ」が実施できることを願うばかりです。(角田記)



**来年も来るぞ〜！！**